

人は見た目が9割？

～あるがままの自分を愛そう～



コロナ禍でマスクをすることが当たり前となった今、人前で素顔をさらすことが、なんだかおっくう…と感じていませんか。現代社会は、「こうしたらもっときれいになりますよ」という広告や情報で溢れかえっていて、人々は自分や他人の見た目を常に気にしています。

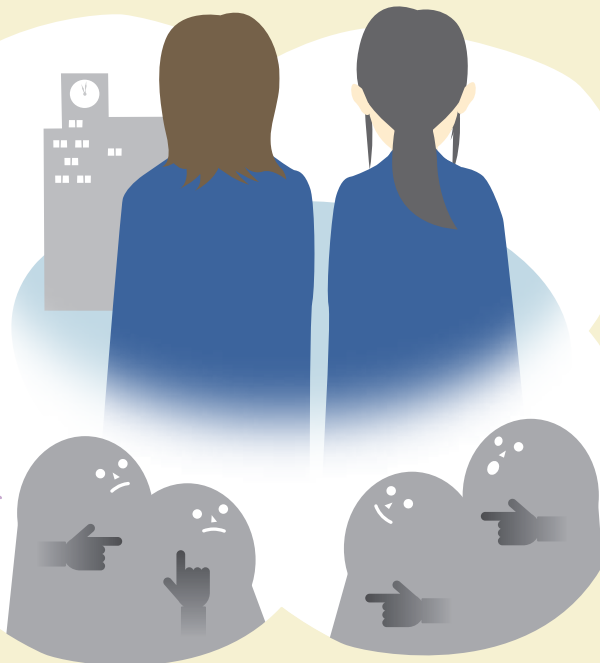
見た目や身体的特徴に基づいて人を差別することを、「ルッキズム＝外見至上主義」といいます。見た目が重要視される世の中では、無意識のうちにルッキズムがあらゆる生活の場面で作用します。

具体例をみてみましょう！

CASE 1 会話の中で...

日常生活において、見た目を周りから比較されるのは圧倒的に女性が多いと感じませんか？

A子よりB子の方が可愛いよな！



CASE 2 日常的に...

女性は常に身だしなみに気を遣うべきだ、という考え方が社会の中にありますが、本当にそうでしょうか。



あれ？今日はすっぴん？
女の子はちゃんと化粧しなきゃ～



CASE 3 メディアからの刷込み...

「女性も男性も美しさを追求すべし」というメッセージが、テレビや雑誌、様々なメディアを通して発信され続けています。一体どこまで規定された美しさを追いかければよいのでしょうか…？

もっともっと美しくなりましょう！

